

「夢・挑戦・継続」

校長 佐藤正道

本校は昭和37年に創立し、『自立・協調・実践』を校訓に「文武両道」「質実剛健」の校風の下、産業界のエンジニアの育成に努めてきました。同窓生数は約1万2千名となり、世界を含め県内外において、さまざまな分野で活躍し、皆様の期待に十分に答えてきたものと自負しています。

創立60周年を迎え、改めて本校の歴史の重みを感じます。建学精神を再認識し、「夢・挑戦・継続」を掲げ「実社会で通用する人財の育成」を目指します。特に「ものづくり教育」を推進し、ものづくりを通じた人づくり（人格形成）に尽力します。生徒一人一人が夢を持ち、その実現に向けて工夫を凝らし果敢にチャレンジし続けることが大切です。挑戦の継続は必ず大きな力と変化を生み出します。それが実社会で通用する人財の育成に繋がるものと確信しています。家庭・地域・学校の連携を密にし、生徒のそれぞれの夢が実現できるよう努めます。皆様方の御支援・御協力をお願いします。



『自立・協調・実践』

実社会で通用する
人財の育成

総合評価計画について

- ◎意義 本校が重点的に取り組む内容を掲げたものです。この目標を達成するため努力します。
- ◎情報発信 本校のホームページや各種メディアでお知らせし、開かれた学校づくりを推進します。
- ※アドレス <https://nihonmatsu-th.fcs.ed.jp/>
- ◎評価 学校評議員や保護者等の意見を踏まえ、年度末に総合的な評価をします。
- ◎意見要望 総合評価全体は、「二本松工業高校学校評価委員会」が担当します。御意見・御要望をお寄せください。

学力の向上

社会性の育成

希望進路の実現

地域との連携

努力目標 I

基礎学力の定着

- [1] 基礎学力の定着**
 - ・少人数授業やティームティーチング授業を通して、基礎学力の定着と学力の向上を図ります。
 - ・実社会と繋がりを持たせた授業や教科横断的な授業を通して分かる授業を行います。
- [2] 学びに向かう姿勢の育成**
 - ・日々の授業を大切にしている指導を行います。
 - ・朝読書や朝学習を行い、学ぶ習慣を身に付けさせます。
 - ・レポート等は期限内に提出できるよう指導します。
- [3] 授業力の向上**
 - ・互見授業やICTの活用を通して、授業力を向上させ、アクティブラーニングの視点での授業改善を追求します。
 - ・観点別評価をします。

努力目標 II

ものづくり教育の充実

- [1] 専門性の向上**
 - ・ものづくりを通して工業技術を習得させます。
 - ・ものづくりにSDGsの視点を取り入れます。
 - ・ものづくり過程での試行錯誤や失敗からの学びを経験させるよう指導します。
 - ・ジュニアマイスターを意識させ、実社会で通用する国家資格等に挑戦させます。
- [2] 資格取得指導の充実**
 - ・資格取得ロードマップを活用して、計画的に資格取得できるよう指導します。
 - ・資格指導方法を工夫します。
- [3] 各種コンテストへの参加**
 - ・ものづくりコンテスト、マイコンカーラリー大会、ロボット競技大会での上位入賞を目指します。

努力目標 III

規範意識の醸成

- [1] 規範意識の醸成**
 - ・TPOに応じた態度や言葉遣いができるように指導します。
 - ・実社会で通用する身だしなみとなるよう指導します。
 - ・身だしなみを整える意識を醸成します。
 - ・学校いじめ防止基本方針に従い取り組みます。
- [2] 安全教育の推進**
 - ・授業中の事故ゼロとなるよう安全意識を高めます。
 - ・日常生活や実習等において、KY（危険予知）活動や5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動の重要性を理解させ、実践させます。
 - ・技術者倫理観を養います。
- [3] 情報モラルの向上**
 - ・ネット社会に対応した情報の取扱いやモラルについての指導を徹底します。

努力目標 IV

豊かな心の育成

- [1] 基本的な生活習慣の確立**
 - ・挨拶を励行させます。
 - ・時間厳守、規則遵守を徹底させます。
 - ・教室清掃や校舎内外の美化活動を通して公共心を涵養します。
 - ・ものや道具を大切に使うように指導します。
- [2] 自己肯定感の醸成**
 - ・学校行事等を活性化させ、協働する心を培います。
 - ・部活動を通してやり遂げる力を身に付けさせます。
 - ・真善美を理解させます。
- [3] 教育相談の充実**
 - ・面接週間や定期的アンケートから悩み相談や問題行動の未然防止に努めます。
 - ・カウンセリングを通して、生徒の心のケアに努めます。

努力目標 V

キャリア形成の推進

- [1] 希望進路の実現**
 - ・地域産業の中核となる人財を育成し、希望進路100%達成を目指します。
 - ・入学時から段階を踏んだ進路指導と実践的支援を行うことでキャリア形成を推進します。
 - ・工業・理系大学や上級学校への進学対策として、計画的に個別指導します。
- [2] 地域連携の強化**
 - ・地域企業や各種団体を積極的に訪問し、信頼関係を築きます。
 - ・外部講師講座、工場見学、インターンシップ、進路ガイダンス、企業説明会等を通して、望ましい職業観を身に付けさせるとともに進路選択に役立たせます。
 - ・離職の防止策を講じます。

努力目標 VI

健やかな体の育成

- [1] 健康の保持・増進**
 - ・新しい生活様式を身に付けさせ、衛生管理に努めます。
 - ・部活動における練習の積み重ねにより、心技体を鍛え、上位大会出場へ導きます。

努力目標 VII

積極的な情報発信

- [1] 広報活動の推進**
 - ・スクールガイドや動画等を用いて、中学生・保護者に本校の特色・魅力を伝えます。
 - ・生徒の活躍や特色ある取組等をHPで情報発信します。
- [2] 工業教育の魅力発信**
 - ・実習内容や学習成果を地域に公開します。
 - ・課題研究発表会を開きます。